

## 2026年度 第4回（9月）北辰テスト対策 予想問題 解答・解説

英語

### 2 問1（4点）

chance

答え: chance (opportunityも可だが中3語彙としてはchanceが標準)

- ・日本語のメモ「祭りについて英語で話すよい機会になります」に対応。
- ・"This will be a good ( chance ) to talk about the festival in English."
- ・不定詞形容詞用法 a good chance to talk の型。timeも文法上は成立するが、メモの「機会」との対応でchance が正答。採点時は chance を正答、time は文脈対応不十分として不可。

訳: これは、祭りについて英語で話すよい機会になるでしょう。

### 2 問2 (A)（3点）

ア (visited)

答え: (A) ア visited

- ・"it is ( A ) by many people from other countries every year" = 「毎年、外国からもたくさんの人が訪れます」(メモ対応)。
- ・受動態 be+過去分詞+by の4択。イ built (建てられる)、ウ carried (運ばれる)、エ closed (閉められる)はいずれも祭りの説明として意味を成さない。
- ・訳: それは町でいちばん大きな行事で、毎年、外国からのたくさんの人々によって訪れられています(=たくさんの人が訪れます)。

### 2 問2 (B)（3点）

ア (practice)

答え: (B) ア practice

- ・"we will ( B ) how to give directions in easy English" = メモ「やさしい英語での道案内のしかたを練習します」。
- ・疑問詞+to不定詞 (how to give) を目的語に取る動詞。イ forget (忘れる) は文脈逆、ウ finish・エ lose は how to 句と意味がつかない。

### 2 問2 (C)（3点）

イ (October)

答え: (C) イ October

- ・"The festival is on ( C ) 17 and 18." = メモ「10月17日と18日に開催」。
- ・掲示文中の「9月26日に英語室へ」(申込) との時系列 (申込→練習→祭り) とも整合。

## 2 問3 (4点)

(解答例) Let's join the volunteer work together. You can learn a lot about the festival before the event. Also, talking with many people in English will be fun for you.

解答例: Let's join the volunteer work together. You can learn a lot about the festival before the event. Also, talking with many people in English will be fun for you.

訳: 一緒にボランティアに参加しようよ。イベントの前に祭りについてたくさん学べるよ。それに、英語でたくさんの人と話すのはあなたにとって楽しいはずだよ。

採点ポイント:

- ・語群 (together / learn / fun) から1語以上使用
- ・1文目＝一緒に参加しようという内容、2文目以降＝理由・アドバイス
- ・全体で2文以上
- ・Ninaの不安 (ガイド未経験・祭りを知らない) に応答する内容だとなお良い
- ・文法・スペルの正確さ

## 3 問1 (3点)

A

答え: A

・挿入文「Everything in the pictures looked so different. (写真の中のすべてがとても違って見えました)」は、直前の写真の中身の描写 (1本しか路線のない小さな駅・川で泳ぐ子どもたち) を受け、直後の「15年住んでいるのに町の昔をまったく知らなかった」に自然につながる。

- ・B の位置は祖父のカメラの話 (現在完了の発言) の直後で、過去形の感想文が入ると流れが切れる。
- ・C の位置は「古いものも残っている」の直後で、「すべてが違って見えた」と内容が矛盾する。

## 3 問2 (4点)

2番目＝ア (used) ・ 4番目＝エ (for)

答え: 2番目 = ア (used), 4番目 = エ (for)

- ・正しい語順: have used it for → "I have used it for more than fifty years."
- ・1: have (ウ) / 2: used (ア) / 3: it (イ) / 4: for (エ)
- ・現在完了継続用法 (have+過去分詞+for+期間)。
- ・訳: 私はそれ (このカメラ) を50年以上使い続けています。

## 3 問3 (3点)

ア (keeping)

答え: ア keeping

・"taking pictures of the town was his way of ( ) its history" = 「町の写真を撮ることは、町の歴史を残す (保存する) 彼なりの方法だった」。

・前置詞 of の後ろなので動名詞。イ losing (失う) は逆、ウ buying ・ エ borrowing は「歴史」と結びつかない。

・訳: 彼はまた、町の写真を撮ることは町の歴史を残す自分なりの方法なのだと私に話してくれました (tell+人+that節)。

### 3 問4 (4点)

taken by

答え: taken by

- ・ "The old pictures at the community center were ( **taken by** ) Misaki's grandfather about fifty years ago."
- ・ 本文根拠: 職員の発言 "He **took** them about fifty years ago." (能動態) → 設問文では写真が主語なので受動態 **were + 過去分詞 + by** に変換する。
- ・ take-took-**taken** の不規則変化に注意。× **taked** / × **took by**。
- ・ 訳: 公民館にある古い写真は、約50年前にMisakiの祖父によって撮られました。

### 3 問5 (4点)

イ

答え: イ Misaki's grandfather has used his camera for more than fifty years.

- ・ 本文の祖父の発言 "I have used it for more than fifty years." と一致。
- ・ ア: 本文 "I didn't know about its old days **at all**" (まったく知らなかった) と明確に矛盾。
- ・ ウ: 写真を撮ったのは職員ではなく Misakiの祖父 ("He took them about fifty years ago." → It was my grandfather!)
- ・ エ: 本文 "Now I sometimes walk around the town with my grandfather **to take pictures together**" (今も一緒に撮っている) と明確に矛盾。

### 4 問1 (4点)

約100年前の9月1日に、とても大きな地震が東京地方を襲ったこと。

答え例: 「約100年前の9月1日に、とても大きな地震が東京地方を襲ったこと。」

- ・ 下線部①の that は、直前のKentaの発言 "About one hundred years ago, a very big earthquake hit the Tokyo area on September 1." を指す。
- ・ 採点ポイント: 「約100年前」「9月1日」「大きな地震が東京(地方)を襲った」の3要素。「そのために毎年9月に防災訓練をする」の因果 (Because of that) が正しく読めているか。
- ・ 許容答案: 「防災の日 (9月1日) の由来として、約100年前に大地震が東京地方を襲ったこと」のように防災の日の説明を含めた答案も、3要素が入っていれば正答扱いとする。
- ・ 訳: そのことが理由で、日本の多くの学校や町は毎年9月に災害に備えて訓練をするのです。

### 4 問2 (4点)

2番目=オ (I) ・ 4番目=ア (do)

答え: 2番目 = オ (I), 4番目 = ア (do)

- ・ 正しい語順: **what I should do first** → "I don't know **what I should do first**."
- ・ 1: what (エ) / 2: I (オ) / 3: should (イ) / 4: do (ア) / 5: first (ウ)
- ・ 間接疑問文 (疑問詞+主語+助動詞+動詞の語順)。know の目的語になるため「what should I do」の疑問文語順にしない点がポイント。
- ・ 訳: でも、家に一人でいるときに地震が起きたら、最初に何をすべきか分かりません。

#### 4 問3 (3点)

イ

答え: イ Mio's family keeps water, food, a flashlight, and a small radio in their emergency bag.

- ・本文 2 のMioの発言 "My family keeps water, food, a flashlight, and a small radio in ours." と一致。
- ・ア: 本文 1 "I have **never** practiced for an earthquake" (地震の訓練は一度もない) と明確に矛盾。
- ・ウ: ちらしは市役所 (city hall) から持ってきたもので、Kentaが作ったものではない。
- ・エ: Kentaの発言は "Moving to a safe place is **more** important than taking your things" で、主張が逆。

#### 4 問4 (3点)

ア (safer)

答え: ア safer

- ・ "If we prepare now, we will feel ( **safer** ) when a disaster happens." = 「今備えておけば、災害が起きたときにより安心に感じられる」。
- ・ **比較級語彙**。イ busier (より忙しい)、ウ angrier (より怒った)、エ hungrier (より空腹な) は文脈に合わない。
- ・ **訳**: 今準備しておけば、災害が起きたとき、私たちはより安心していられるでしょう。

#### 4 問5 (4点)

ア

答え: ア Grace's grandmother decided on a meeting place with her family.

- ・本文 3 のGraceの発言 "**She** also decided on a meeting place with her family." (She=Graceの祖母) と一致。
- ・イ: 本文は "She always keeps important things in **one small bag**" (1つの小さなかばん) であり、many different bags と明確に矛盾。
- ・ウ: 集合場所は駅ではなく「彼女の町の図書館 (the library in her town)」。
- ・エ: 祖母の町の近くで起こるのは地震ではなく「大きな火事 (Big fires)」。

#### 4 問6 (3点)

ア

答え: ア That sounds great.

- ・Mioの提案「文化祭で非常持ち出し袋についての英語ポスターを作るのはどう？」への応答。直後の "I can help you with the English words." (英語を手伝えるよ) と自然につながるのは賛同の ア。
- ・イ That's too bad. (残念)、ウ No, I don't think so. (そう思わない) は直後の協力申し出と矛盾。エ You're welcome. (どういたしまして) はお礼への返答で、ここでは成立しない。

#### 4 問7 (4点)

each other

答え: each other

- ・ "Grace thinks that people should help ( **each other** ) when a disaster happens."
- ・ 本文 5 のGraceの発言 "During a disaster, helping **each other** is as important as preparing things." が根拠。
- ・ help each other = 「お互いに助け合う」。原級比較 as important as と合わせて中3の9月レベル。
- ・ 別解: one another も意味・語数とも正しいため正答扱いとする (本文の表現は each other)。
- ・ 訳: 災害のときには、お互いに助け合うことは物を備えることと同じくらい大切です。

#### 5 問1 (3点)

イ

答え: イ Lucy's class practiced the big rope jumping every morning for two weeks.

- ・ 本文 "our class practiced the big rope jumping every morning for two weeks" と一致。
- ・ ア: 本文 "In Canada, my school **doesn't have** an event like Japanese Sports Day" と明確に矛盾。
- ・ ウ: 本文 "At first, I was **not** happy about the morning practice" と明確に矛盾。
- ・ エ: 帰国は "next **March**" (来年3月) であり、next month ではない。

#### 5 問2 (3点)

ア

答え: ア Yuki told Lucy that winning is not everything.

- ・ 本文 "She said, 'Winning is not everything.'" (She=Yuki、聞き手=Lucy) と一致。
- ・ イ: Yukiが言ったのは "We practice **to become one team**" (1位を取るために練習する、ではない)。
- ・ ウ: 本文 "our class jumped fifty times and got **second place**. We **didn't win first place**" と明確に矛盾。
- ・ エ: 本文の結論 "doing our best together is **more** fun than doing things alone" と主張が逆。

#### 5 問3 (6点)

(解答例) ① My favorite school event is the chorus contest. ② Our class practices singing together after school. When we sing well, I feel very happy. Also, I can talk a lot with my classmates during the practice.

解答例:

- ① My favorite school event is the chorus contest.
- ② Our class practices singing together after school. When we sing well, I feel very happy. Also, I can talk a lot with my classmates during the practice.

訳: ① 私の好きな学校行事は合唱コンクールです。② 私たちのクラスは放課後に一緒に歌う練習をします。うまく歌えたとき、私はとてもうれしく感じます。また、練習の間にクラスメートとたくさん話すことができます。

採点ポイント:

- ・ 1文目: **My favorite school event is** で始まり、好きな学校行事が伝わる
- ・ 2文目以降: 2文以上で、その行事が好きな具体的な理由
- ・ 全体3文以上
- ・ 語順・時制・スペル
- ・ Lucyのスピーチ (下線部④「この思い出を決して忘れない」) への応答として自然な内容